

インターネットトラブルを防ぐために

発行：岩見沢市教育委員会 指導室 青少年センター

あなたは〔情報の洪水の中〕で、 誤情報、偽情報に惑わされていませんか？

辞書「広辞苑」約5,940兆冊分（画像・動画を除く）の情報があると言われているインターネット。その中には多くの「誤情報・偽情報」が含まれています。

「誤情報・偽情報」に惑わされ、「思い込み」や「偏った意見や考え方」を持ってしまい、違う意見や考え方を聞き入れなくなってしまうことがあります。さらには、あなたが誤情報・偽情報の発信源になってしまったり、気づいたら誹謗中傷の加害者に、、、。

下記のインターネットの特性を理解したうえで、インターネットを正しく活用しましょう。

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス：Social Networking Service）

（自分が見ているのは、閲覧履歴によって自分に最適化された情報かもしれないのに、自分で選んで見ていると勝手に解釈する・それを伝えてしまう危険性）

情報の真偽を見分けるには、発信者や情報源を必ず確認する必要があります。個人の考えやうわさ、特に、過度に感情的な内容、断定的な表現に煽られないよう注意が必要です。複数の信頼できるニュースサイトや公的機関の情報で確認することが大切です。

検索サイト

（上位にあるほど価値がある・信頼できると、勝手に解釈する・それを伝えてしまう危険性）

情報は、信頼できる発信元（公的機関、専門家など）によるものか確認が必要です。一つの情報に頼らず、複数の情報源を比較して真偽を判断することが大切です。



ニュースサイト

（簡単にした調査結果や専門家の考えを都合よく解釈する危険性）

ニュースサイト側には、特定の視点や価値観を強調したい、アクセス数を多くしたい、広告収入を得たいといった意図が働いている可能性があります。記事が偏った意見、感情的な表現じゃないかを読み解くことが大切です。

アルゴリズム：ユーザーの過去の「いいね」、検索履歴などから、「次に何を見たいか」を予測。最も関心がある投稿や情報を優先的に表示する仕組み。

フィルターバブル：「アルゴリズム」が、ユーザーの過去の行動や興味から、見たいと思う情報だけを優先的に表示。違う意見や考え方など色々な情報が遮断され、孤立状態になる現象。

エコーチェンバー：SNSなどで、同じ意見や興味を持つ人たちと交流し、自分たちの意見が正しいと思い込み、違う意見や考え方が届きにくくなる現象。

©2025 岩見沢市教育委員会 指導室 青少年センター seishou@city.iwamizawa.lg.jp

TEL：0126-33-3333

FAX：0126-25-0777

今まで発行した「保護者向け インターネット啓発リーフレット」は、
岩見沢市ホームページ [岩見沢市青少年センター](#) [検索](#) で検索
*「校外生活のきまり」「青少年センターだより」もご覧いただけます。

